

平成 2 1 年度

# 財政援助団体監査報告書

仙北市監査委員

仙発監第 15 号  
平成 22 年 3 月 26 日

仙 北 市 長 門 脇 光 浩 様  
仙 北 市 議 会 議 長 佐 藤 峯 夫 様  
仙 北 市 教 育 委 員 会 委 員 長 佐 久 間 健 一 様

仙北市監査委員 三 浦 一 平

仙北市監査委員 藤 原 助 一

平成 21 年度財政援助団体監査の結果について

地方自治法第 199 条第 7 項の規定により、平成 21 年度の財政援助団体監査を実施した  
ので、その結果を同条第 9 項の規定により報告します。

# 目 次

第1	監査の期間	1
第2	監査の執行年月日及び対象団体	1
第3	監査の方法	1
第4	監査の結果	2
	西木地区駅伝競走大会実行委員会	3
	生保内節盆踊り実行委員会	5
	仙北市交通安全母の会	7
	戸沢氏祭実行委員会	9
	(社)田沢湖観光協会	11

# 平成21年度財政援助団体監査報告書

## 第1 監査の期間

平成21年11月24日から平成22年3月9日まで

## 第2 監査の執行年月日及び対象団体

平成21年度の財政援助団体監査については、平成20年度に市が補助金等の財政的援助を与えた団体の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

執行年月日	監査対象団体	補助金等名称	所管部課等名
11月24日(火)	西木地区駅伝競走大会 実行委員会	西木地区駅伝競走大会補 助金	教育委員会 生涯学習課
11月24日(火)	生保内節盆踊り実行委 員会	生保内節盆踊り開催費補 助金	教育委員会 田沢湖公民館
11月24日(火)	仙北市交通安全母の会	仙北市交通安全母の会補 助金	市民福祉部 環境防災課
11月24日(火)	戸沢氏祭実行委員会	戸沢氏祭実行委員会補助 金	産業観光部 観光課
11月24日(火)	(社)田沢湖観光協会	スローライフモニターツ アー事業補助金	総務部 重点プロジェクト推進室

## 第3 監査の方法

監査対象団体に係る出納その他事務の執行について、適正かつ効率的に行われているか、また、それに関する所管課等の事務が適正に執行されているかについて、関係諸帳簿の提出を求め、関係職員から説明を聴取し、その他必要と認めた監査手続きを実施した。

なお、監査における主な着眼点は次のとおりである。

(財政援助団体関係)

- ・補助金等の交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。
- ・補助事業は、目的に沿って適正且つ効率的に執行されているか。
- ・補助金等に係る収支の会計経理は、適正に行われているか。
- ・補助金等が補助対象事業以外に流用されていないか。
- ・帳簿の整理、記帳は適正か。領収書等の証拠書類の整備、保存は適正に行われているか。
- ・実績報告等は適正に行われているか。

(所管課等関係)

- ・補助金等の財政援助の決定は、法令等に適合しているか。
- ・補助金交付要綱等は、整備されているか。
- ・補助金等の交付目的及び補助金等対象事業の内容は、明確にされているか。
- ・補助金等の額の算定、交付申請及び交付決定の時期、手続き等は適正に行われているか。
- ・補助金等の効果及び条件の履行の確認は、実績報告等によりなされているか。
- ・団体に対する補助金等の経理についての指導監督は、適切に行われているか。
- ・補助金等の交付目的や効果等から判断して、統合、廃止等の見直しの必要がないか。

#### 第4 監査の結果

今回監査対象とした団体への補助金等の交付事務、出納その他の事務はおおむね適正に処理されていると認められた。しかし、昨年度の定期監査での指摘と重複するが、補助金交付の基準となる補助金交付要綱等を制定しないままに補助金交付がなされているものがあつた。引き続き補助金交付要綱等の制定を求めたい。

各団体においては、地道に活動していただいている様子が伺える。限られた財源の中で苦勞の多い取り組みに敬意を表する。今後とも社会情勢や住民ニーズに即した活動を展開し精進願いたい。

概要等は、次のとおりである。なお、監査の際に見受けられた事務処理上留意すべき軽微な事項については、各課所長等に対して改善又は検討を要望したので、記述を省略した。

# 西木地区駅伝競走大会実行委員会

1. 補助金等の名称 西木地区駅伝競走大会補助金
2. 担当部課等名 教育委員会 生涯学習課
3. 補助金等交付金額 250,000円
4. 補助金等交付年月日 平成20年9月10日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 地域住民のスポーツ振興を図るとともに、選手・役員、住民相互の交流を深める。
7. 事業の内容 毎年10月に開催される。  
西木地区各集落単位で参加する一般の部と中学校男子・女子の部に分かれ、紙風船館をスタートし西木庁舎をゴールとする25km10区間で行われる。入賞は一般の部6位、中学校男子・女子の部は3位までとし各区間1位には区間賞を授与する。
8. 事業の効果・実績 (効果)  
地域住民のスポーツ振興を図り、スポーツを通じて住民相互の交流・絆を深める。  
(実績)  
平成20年度は、一般の部参加チーム11チーム、中学校男子の部4チーム、女子の部2チーム、オープン参加1チームの計18チーム、180人が参加した。また、中学校女子の部では区間新記録が1つ更新された。

## 9. 平成20年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
参 加 料	54,000	報 償 費	120,888
市 補 助 金	250,000	印 刷 製 本 費	14,170
保 険 料	18,000	消 耗 品 費	9,803
繰 越 金	1,065	食 糧 費	56,262
		通 信 費	12,620
		保 険 料 掛 金	30,900
		借 上 料	62,700
		手 数 料	15,220
合 計	323,065	合 計	322,563
翌年度繰越額 (収入合計－支出合計)			502

10. 要 望 事 項 会計年度を検討願いたい。

# 生保内節盆踊り実行委員会

1. 補助金等の名称 生保内節盆踊り開催費補助金
2. 担当部課等名 教育委員会 田沢湖公民館
3. 補助金等交付金額 153,277円 (当初300,000円の概算交付、事業中止のため精算により146,723円返還)
4. 補助金等交付年月日 平成20年8月20日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 田沢湖生保内地区の盆行事として市民が楽しめるよう継承していくことを目的に開催する。また、市の文化遺産「生保内節」の手踊りの継承、保存を図る。
7. 事業の内容 実行委員会を組織し、田沢湖駅前広場で盆踊りを開催する。
8. 事業の効果・実績 盆踊りによって地域の連帯と市民の親睦を図るとともに市の貴重な「生保内節」の手踊りを普及、継承していくことを期待する。
9. 平成20年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
市補助金	300,000	賞品費	97,000
繰越金	75,661	会議費	1,700
雑収入	61	賃金	15,000
		消耗品費	15,780
		燃料費	3,405
		食糧費	13,285
		印刷製本費	3,799
		通信運搬費	3,280
		手数料	31,500
		借上料	12,000
		予備費	2,250
		小計	198,999
		補助金返金	146,723
合計	375,722	合計	345,722
翌年度繰越額 (収入合計－支出合計)			30,000

10. そ の 他 行政を補完する等の団体である。

- \* 今回、8月20日雨のため21日順延とするも21日も大雨警報が発令されたため「中止」。よって当日までの諸経費を補助金分とした実績報告を提出、その後返還命令により返還したものである。なお、30,000円を繰越金とした根拠は、前年度繰越金のうちの寄附金分を繰り越したものである。

# 仙北市交通安全母の会

1. 補助金等の名称 仙北市交通安全母の会補助金
2. 担当部課等名 市民福祉部 環境防災課
3. 補助金等交付金額 200,000円
4. 補助金等交付年月日 平成20年7月10日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 母親の立場から子供と高齢者の交通事故防止と飲酒運転の絶滅を図り、家庭の平和と幸せな生活を築くために自ら正しい交通ルールを身につけ交通事故防止に努める。
7. 事業の内容
  - ①新入学児を交通事故から守る全国統一活動（新入学児を持つ家庭で母と子対話を持つよう啓発）
  - ②春・夏・秋・年末の交通安全運動、新入学期の交通安全運動（街頭指導）
  - ③子育て・高齢者世帯訪問事業（市内全域の高齢者、市内小学校3年生が対象）
  - ④交通安全市民大会への協力
  - ⑤新入学用交通安全リーフレット配布訪問事業（市内全保育園・幼稚園）
8. 事業の効果・実績 地域の小学校、幼稚園、保育園と連携した活動による児童・園児の交通事故防止と高齢者世帯訪問事業での交通安全思想啓発・普及に効果あり。
  - ①春の交通安全運動…各支部において街頭に立ち交通安全を啓発、交通安全祈願祭に参加
  - ②子育て・高齢者世帯訪問…市内全域小学3年生239人、高齢者750人が対象
  - ③交通安全市民大会に参加
  - ④新入学児交通安全リーフレット配布訪問…市内の10箇所の保育園・幼稚園に訪問しリーフレットと反射材を配布（対象児は193名）

9. 平成20年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 補 助 金	200,000	活 動 助 成 金	77,000
雑 入	175	会 議 費	12,530
事 業 交 付 金	65,200	旅 費	8,000
		報 酬	33,000
		事 業 費	122,580
		事 務 費	5,550
合 計	265,375	合 計	258,660
翌年度繰越額 (収入合計－支出合計)			6,715

10. 要 望 事 項 同会会則で謳っている会計年度で執行するよう検討願いたい。

# 戸沢氏祭実行委員会

1. 補助金等の名称 戸沢氏祭実行委員会補助金
2. 担当部課等名 産業観光部 観光課
3. 補助金等交付金額 2,000,000円
4. 補助金等交付年月日 平成20年7月30日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 戸沢氏について住民が深く学び理解することで郷土愛の醸成と歴史文化の継承を図り、かつ、西木の夏祭りとして定着させ地域の活性化を図る。
7. 事業の内容 戸沢氏お家行列、盆踊り、芸能披露、ステージショー、川魚のつかみ捕りなど。
  - ①お家行列
  - ②川魚のつかみ捕り
  - ③戸沢氏寸劇
  - ④超神ネイガーショー
  - ⑤佐渡の鬼太鼓
  - ⑥郷土芸能披露
  - ⑦盆踊り
  - ⑧灯ろう流し
8. 事業の効果・実績 西木町西明寺地区の祭りがなかったことから14年前に創設したお祭りである。子供からお年寄りまで一体となって楽しめるお祭りとして定着している。今回、秋田市や首都圏からお家行列に参加した団体があり、戸沢氏寸劇も披露された。回数を重ねる毎に徐々に周知されている。

## 9. 平成20年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
補助金	2,000,000	報償費	200,000
市補助金	2,000,000	ささら3団体出演謝礼	90,000
協賛金	2,486,100	真山寺お布施	20,000
秋田内陸線再生支援協議会	50,000	門屋城址神事初穂料	15,000
各企業・団体協賛金	1,490,000	わらじ製作代	35,000
各集落協賛金	946,100	盆踊り指導謝礼	40,000
雑入	65,360	消耗品費	49,561
利息等	65,360	会場使用道具等	49,561
前年度繰越金	261,351	食糧費	171,432
		芸能出演者弁当	13,500
		スタッフ等夕食	59,220
		殿様等昼食	13,500
		神事お供え物	9,662
		ジュース等・氷	55,200
		お酒(謝礼用)	20,350
		燃料費	42,329
		発電機等燃料	42,329
		印刷製本費	194,250
		花火プログラム作成費	31,500
		ポスター・チラシ	162,750
		役務費	180,335
		協賛金振込手数料	26,425
		郵送料	34,540
		道路使用許可申請証紙	4,500
		保険料(傷害・賠償責任)	46,150
		仮設トイレ汲み取り	29,400
		衣装等クリーニング	33,000
		内陸線無料乗車券	6,320
		借上料	993,016
		音響・照明機材借上費	312,900
		トイレ・発電機等リース	235,966
		馬リース	105,000
		殿様等衣装リース	339,150
		原材料費	71,618
		魚(つかみ捕り用)	60,000
		灯笼材料代	11,618
		イベント費	2,129,150
		花火打上費	1,913,650
		芸能出演料	100,000
		イベント出演料	115,500
		会場費	412,250
		会場仮設工事	315,000
		電気仮設工事	50,000
		司会者派遣	47,250
合計	4,812,811	合計	4,443,941
翌年度繰越額(収入合計-支出合計)			368,870

10. その他 行政を補完する等の団体である。

# (社) 田沢湖観光協会

1. 補助金等の名称      スローライフモニターツアー事業補助金
2. 担当部課等名      総務部 重点プロジェクト推進室
3. 補助金等交付金額      280,000円
4. 補助金等交付年月日      平成21年3月23日
5. 補助金等交付根拠等      無
6. 事業の目的      仙北市への定住・交流を考えている方や関心のある方を対象とするスローライフモニターツアーを実施することで、仙北市を広く知ることができ、定住へのきっかけづくりを提供するため。
7. 事業の内容      スローライフモニターツアーは秋と冬の2回実施する。秋については、空き家見学やトレッキング、農作業体験、観光地散策を実施した。また、冬については、空き家見学や冬祭り見学、きりたんぼ作りを体験し、仙北市の魅力を知ってもらった。  
参加者1人あたり10,000円を補助
8. 事業の効果・実績      参加者は市内全域の特色を活かした様々な体験メニューをツアーでの交流を通じて満喫することができ、定住への関心が高まった。また、参加者には仙北市のファンになり、9名の方がふるさとサポーターとなってイベント補助等の協力をいただいている。  
秋参加者：14名      冬参加者：14名

9. 平成20年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 補 助 金	280,000	宿 泊 費	483,000
参加者負担金	420,000	食 費	74,050
		講 師 謝 礼	36,000
		体 験 料	38,480
		入 浴 料	7,000
		傷 害 保 険 料	14,000
		プ レ ゼ ン ト 代	15,400
		燃 料 代	25,000
		消 耗 品 代	7,070
合 計	700,000	合 計	700,000
翌年度繰越額（収入合計－支出合計）			0